



ハイライトよねやま 127

1 寄付金速報 — 米山月間に向けての寄付状況は？ —

8月までの寄付金は前年同期と比べて1.9%増、約560万円の増加となりました。普通寄付金が3.3%減、特別寄付金が13.4%増と、普通寄付金は伸び悩んでいるものの、特別寄付金は比較的好調で、8月のみの単月寄付額としては過去10年間で2番目に高い結果となりました。

10月は米山月間です。事務局では“よねやま”を皆さまに知っていただくためのさまざまな資料をご用意しています。全クラブにお送りする「寄付金マニュアル」のほか、ご要望に応じて、卓話やセミナーにご活用いただけるデータを提供いたします。今年度は税制優遇の対象が昨年よりも拡大し、普通寄付金にも適用可能になるなど、寄付のメリットが増えています。10月の米山月間には、事業理解の推進とともに、さらなる寄付の呼びかけをお願い申し上げます。

2 理事会・評議員会開催報告

8月30日に2010年度第1回評議員会、翌31日に第1回理事会が、都内で開催されました。

評議員会 全国から45名の評議員と、常務理事、監事および島津久厚名誉理事長の11名が出席。議長には、互選によって井橋吉一評議員（第2770地区ガバナー）が選出されました。

【主な評議員会決議】

- 2009年度事業報告・決算報告の承認：それぞれ原案通り承認
- 2010年度収支予算一部修正：2009年度決算数字に基づき、2010年度収支予算上の一般正味財産期首残高、一般正味財産期末残高、正味財産期末残高の修正が提案され、承認された

閉会后、坂下事務局長より海外応募者対象奨学金制度、新公益法人への移行について説明があり、意見交換がなされました。海外応募者対象奨学金制度は、現在、制度見直し中の「現地採用奨学金」に代わる新しい制度とあって、「母国ロータリーの推薦が望ましい」「地区米山奨学委員会として実務レベルでどう進めればよいか」などの活発な意見交換がなされました。

理事会 理事31名と監事3名および島津久厚名誉理事長が出席し、議長の板橋敏雄理事長の進行のもと、評議員会の承認を得た上記a・bが理事会でも承認されたほか、以下が決定されました。

【主な理事会決議】

- 2010年度評議員1名選任：6月3日の理事会で2010年度評議員を選任したが、その後、第2600地区ガバナーより評議員の推薦があり、未定となっていた1名が選任された。2010年度第2600地区評議員 都築文男氏（塩尻RC）
- 海外応募者対象奨学金制度：原案通り承認されたが、「日本語運用能力を問わない場合、カウンセラー選任やロータリアンとの交流に支障が出ないか」「地区委員会の負担が増大する」「対象を低所得国とするなどの条件設定が必要では」といった意見も出され、本制度の試行が承認された。制度の内容は試行中に見直される。
- 会合旅費規程一部改定：算出起点を「自宅」とする改定が承認され、8月30日から施行となった。



両日とも会議開始前に、7月17日に上海で開催された中国学友会総会・懇親会の映像を上映したほか、会議後に2009年度寄付金実績上位の地区に対して、板橋敏雄理事長より感謝状が贈呈されました。

中国学友会総会・懇親会 in 上海の映像は、当会ホームページで公開中です！

3 台湾の学友夫妻から 10 万円の寄付

先月、第 2650 地区元米山記念奨学委員の伊藤勝悟氏（草津 R C 会員）より、嬉しい連絡を頂きました。8 月初旬、台湾南部の高雄市に米山学友の蘇 南彰さん・蔡 璧如さんご夫妻を訪問した際、お二人から「お世話になった米山奨学会に御礼がしたい」と、寄付金 10 万円を託されたとのことでした。夫の蘇さん（2002-04 / 大津 R C）は歯科医、妻の蔡さん（2002-03 / 草津 R C）は義守大学経済学部准教授と、夫婦共に活躍されるお二人は、米山奨学生としての出会いがきっかけで結婚。当時、地区米山委員としてお二人と関わった伊藤氏とは現在も親しく交流が続いているそうです。

今回の寄付について、伊藤氏は「二人の気持ちに大変感動するとともに、同じように米山奨学制度に感謝している学友がたくさんいることを、多くのロータリアンに知っていただきたいと思います」と語ってくれました。



蘇さん(右)・蔡さん(左)ご一家と伊藤氏

4 タイでの WCS 活動に米山学友が協力

豊橋ゴールデン R C（第 2760 地区）では W C S 活動として、タイのスリウオン R C（第 3350 地区）と協力して、聴覚障害児の小学校に 10 万円分の図書を寄贈。7 月 19 日に現地で行われた贈呈式では、米山学友のジャンミシー・パッタモンさん（タイ / 2001-03 / 豊橋ゴールデン R C）が通訳として協力しました。同クラブ米山奨学委員長の山本雅久氏は次のように語っています。

「パッタモンが米山奨学生として初めてクラブに来た時は、日本語もやっと話せるレベルでした。時折、自宅に招き、食事を共にするうちに私の家族とも親しくなり、我が子のような存在になりました。次男の卒業式と彼女の卒業式が重なった時、妻は彼女の母親代わりを選び、自分の着物を着せて、一緒に卒業式に参列したほどです。今回のタイ訪問では、彼女の通訳のお陰で先方地区と細部まで打ち合わせることができました。学友が自国の子供たちのために進んで協力してくれたことを嬉しく思いますし、その心がより大きく育ち、いつか母国のロータリアンになって、タイのロータリー活動に役立ってくれることを祈っています」



タイでの贈呈式(後列中央がパッタモンさん)



まもなく米山の資料が全クラブへ届きます！



今年も米山月間【10 月】用資料を全ロータリークラブへお届けします（9 月 18 日発送完了予定）。クラブ会長およびクラブ米山奨学委員長は必ずお目通しください。

※理事、ガバナー、評議員、専門委員、地区米山奨学委員長・委員の皆さまにもお送りします。

お送りする資料(豆辞典以外は基本的に 1 部ずつです)

- ・豆辞典 ※豆辞典は、全会員に配布してください
- ・クラブ米山記念奨学委員長の手引き(委員長用)
- ・寄付金マニュアル(クラブ事務局用)
- ・2009-10 年度事業報告書
- ・2009-10 年度事業報告書(統計・資料編)
- ・2009 年度決算報告(クラブ会長・委員長各 1 部)
- ・米山広報資料 申込書

DVD、リーフレットは別途ご請求ください

